

静岡大学、ベトナムのフエ市に初の海外拠点事務所を開設

静岡大学は、本年4月、ベトナム中部のフエ市に、本学初の海外拠点事務所となる「静岡大学フエ連絡事務所」を開設しました。

フエ市は、ベトナム最後の王朝・阮（グエン）王朝の都で、王宮はユネスコの世界遺産にも登録されており、ホーチミン市、ハノイ市に次ぐベトナム第3の都市で、静岡市とは、2005年4月に友好都市の締結を行っています。

連絡事務所は、フエ市で1994年からストリートチルドレンの保護活動を行っている日本のNGO団体であるJASS『ベトナムの「子どもの家」を支える会』（代表：小山道夫氏）ベトナム事務所の協力を得て、同事務所内に設置しました。

静岡大学はこれまで、JASS主催の「ボランティア・スタディーツアー」への学生と職員の参加、静岡大学を会場に共催で「ダイオキシン問題」のシンポジウムを開催、また、フエ市研修員と本学教育学部生による「環境問題や国際協力」をテーマにした意見交換会等、JASSを通してフエ市との交流を積極的に推進してきました。

今回の「連絡事務所」開設は、ベトナムにおける国際交流の拠点としての位置づけを持つものですが、早速、4月下旬には「9月入試の現地説明会」をフエ市内の高校で実施しました。

「静岡大学フエ連絡事務所」の看板



「9月入試の現地説明会」訪問団（中央が JASS 代表の小山道夫氏）

